

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度 第1回福津市環境審議会
開催日時		令和5年10月2日(月) 午後1時30分～
開催場所		福津市役所 別館1階 大ホールE
委員名		出席委員 鈴木 慎也会長・豊貞 佳奈子副会長 栗田 喜久委員・早淵 百合子委員・福嶋 政光委員・清水 佳香委員・藤田 裕美子委員・都島 直來委員・中尾 恭子委員・大庭 也寸志委員
所管課職員職氏名		うみがめ課長 芹野 眞里子 清掃対策係長 高山 大樹 環境づくり係長 権現 陽子 清掃対策係 藤野 孝太
会	議 題 (内 容)	報告議案 ・福津市ごみ処理基本計画の中間見直し ・第2次福津市環境基本計画実績報告 ・令和5年度福津市の脱炭素に関する取組
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	-
	傍聴者の数	0名
議	資料の名称	・次第 ・議案第1号資料 福津市ごみ処理基本計画の中間見直し(案) ・議案第2号資料1 第2次福津市環境基本計画(第1部)実績報告書 ・議案第2号資料2 第2次福津市環境基本計画(第2部)実績報告書 ・報告第1号資料 省エネ家電補助金案内ちらし
会議録の作成方針		録音テープを使用した要点記録
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

○開会の言葉

○本多副市長挨拶

○鈴木会長挨拶

○会議録の確認

鈴木会長 福津市附属機関の会議の公開に関する要綱第9条第2項の規定により、当該附属機関の長が指定した者により、会議録の確認を得るものとするということで、豊貞副会長に確認をお願いしたいと思います。
豊貞副会長、承認いただけますでしょうか。

豊貞副会長 はい。

○委員会成立宣言

鈴木会長 本日は、環境審議会総数10名のうち10名出席です。
よって、福津市環境基本条例第22条第2項の規定により、本日の委員会は成立いたしました。

○会議公開の了承確認

傍聴 なし

1. 審議

鈴木会長 議案第1号福津市ごみ処理基本計画の中間見直しにつきまして、事務局から報告をお願いいたします。

事務局 議案第1号について 見直し箇所について説明

鈴木会長 報告を受け、質問やご意見はありますでしょうか。

豊貞副会長 37ページと令和3、4年あたりがコロナ禍の巣ごもりで家庭ごみが増えたと思うのですが、数字はそうはなっていないので何かそういうことを検討されたりしたのでしょうか。

事務局 コロナ禍で、という視点では見てはなかったのですが、確かに巣ごもりで家庭のごみが増えたのかなという印象はあったのですが、ただ一方で分別収集を中止したので、数字的には、そこまで余り変化がなかったのかというのがありますが、分析不足ではあります。

鈴木会長	コロナ禍で粗大ごみが急増している他の自治体があったが、福津市ではなかったのですね。
事務局	令和5年7月から粗大ごみの有料化を行ったが、その前のかけこみの排出が多く通常の5倍ほどありましたが、この数値はまだ出てきていません。
清水委員	エコロの森で家庭ごみの量の推移を見ていて、コロナの間は逆にちょっと減ったような印象でした。 分析としては、家の時間が長いので、丁寧に暮らすというか、食品ロスを出さないとか、買物に行くのもなかなか大変な時期でもありましたので、リサイクルに手間をかけたり、今あるものを十分に使い尽くすという生活スタイルだったから、この地域では割と増減がなく、逆にちょっと減ったということだったと思います。
藤田委員	古紙の回収が減ったということですが、福津市内に民間の古紙回収のステーションが増えてきて、そこはあふれんばかりです。いつ行っても捨てられるということで、便利で民間のほうに流れているという傾向にあるのではないですか。
事務局	そうですね、古紙に関しては福津市に出していただくか、民間に出していただくかです。リサイクルできれば、それでいいことだと思います。 ただその数字が把握出来ないというのは少しもどかしいところではあります。
清水委員	27ページ、施策と取り組み内容の分け方に違和感があります。抑制だったら推進のためもあるので、抑制や推進のための費用負担について検討したりもう少し具体的に書かないと（1）の文言は全部の施策に関わっていることだと思います。
事務局	分かりました。表現の仕方について検討したいと思います。
鈴木会長	先ほどの古紙の話に戻りますが、民間のコンテナボックスが福岡市内はかなり増えてきていて、常にあふれているように見えますが、中身はどうかと思います。 段ボールが増えていて、新聞は逆に減っているとか、その回収システム自体が増えているのもありますが、そもそも消費

	構造が、この近年で変わっているのではと思うのですがその辺はどうですか。
事務局	おっしゃるとおり、紙そのものの流通が増えています。段ボールは増えて、新聞、その他、紙に関してはネットに置き変わっているのかなというふうには感じるころではあります。ただ新聞がどのぐらい、段ボールがどのぐらいといった集計までは取れてないです。
鈴木会長	確認しようと思えばできますか。
事務局	古紙ということではなく、新聞雑誌段ボールという分け方だと、難しいです。確認はしてみます。
大庭委員	37ページ。1人当たり総排出量を、837gに減らすとなっているがなにか得策がありますか？
事務局	ごみの総排出量なのでリサイクルに出したとしても、排出量に換算される。削減するにはそもそも、出さないということになりますので、例えば、生ごみコンポスト、もしご家庭で、かなりの数の世帯がされると、そこに生ごみの量としては減るのでそういういった方法も一つあるのかな、と。あとはもう、そもそも物を買わないと。粗大ごみの有料化によって物を長く使い、長く使えばごみの排出は少なくなりますのでそういったことを念頭に置いて、ごみの総排出量を減らしていくとなど他にもいろいろ考えられると思います。もし、ほかにも何か、お知恵があれば、教えていただければ。
大庭委員	生ごみコンポストの補助は考えていないのですか。
事務局	平成29年度までは助成金を出していましたが、現在はありません。
鈴木会長	関連して、37ページ表6で、家庭系ごみと事業系ごみをそれぞれ、排出量を減少させる目標設定されていますが、家庭系ごみに限らず、事業系ごみに関して、総排出量の減量を進める具体的な策はありますか。
事務局	事業所に対して、そこまでアクションを今までかけてなかったというのがあります。また、多量排出事業所に関して書類

	を出していただいて指導するという流れが福津市に欠けているところだと思います。今後の課題ということになる。
鈴木会長	多量排出事業所はどのくらいありますか。
事務局	集計できていません。
豊貞副会長	39ページの生ごみの減量化のところ、可燃ごみの約26%を占める生ごみとあるのですけれども、ここは湿重量比かさで言う場合もあるので、重量ですか容量ですか。
事務局	グラムです。湿潤量です。
豊貞副会長	少し気になるのが、先ほどの4つの基本方針です。2つのページで出ているので参照を入れた方がいい。
事務局	30ページを参照ということですね。
鈴木会長	プラスチック新法が施行されたが施設の更新時期等を考え、当面は製品プラのリサイクル予定はないということでしたが、工場の更新というのは現時点では、何年後ぐらいの予定ですか。
事務局	まだ決まったことではないですが、10年後ぐらいを予定している。場所もまだこれからです。
鈴木会長	例えば福岡市は今モデル回収で製品プラの拠点回収だけをしている状態ですが、何の設備投資もしてない状態でそれを動かしていて、少しモデル事業的にやってみるのもありなのでは。拠点回収はかなりされていると思うのですがそれはそれで国の基本戦略とかいろいろ考えると、結構野心的な目標設定を立てているのでご検討ください。
事務局	わかりました。
早淵委員	37ページに削減の目標がありますが、これの内訳は組成調査されてる14ページのこれからですか。
事務局	この組成調査は家庭から出た燃えるゴミになります。1人1日当たりの総排出量というのは、家庭ごみ、資源ごみ、空き缶類、それからリサイクルしている剪定くずとか草も含まれ

	<p>まして、さらに事業系の一般廃棄物も含まれるので、そういった全てのごみです。</p> <p>組成調査はあくまでも家庭ごみですね、一部というようなどらえ方です。</p>
早淵委員	<p>目標の設定だと、恐らく現状の割合は重さベースだと思うのですが、内訳がある程度細かく分かる、そのトレンドが分かると、実はもう生ごみは減っていて、もう余り減らす余地がないとか、プラスチックは増えてるけれども重量ベースはそんなに寄与してないとか。削減のポテンシャルを考える上でそういうデータがあると、議論しやすくなる。</p>
事務局	<p>わかりました。ターゲットを見つける必要があるということですね。</p>
鈴木会長	<p>トレンドという意味で私も少し追加を。紙おむつですが、平成29年度は6.45%、令和4年度が10.27%。これはたまたま令和4年度が多かったのではなく、実際増えている可能性もあるのではと思います。自治体によっては高いパーセントを示しているところもある。今後、高齢化の進展に伴って、高い割合を占めるようになりそうなのが少し気になります。</p> <p>あと剪定枝ですが、他のごみと比べると、排出のパターンが違うので、基礎情報を入れる意味では分母の中に含めて、パーセンテージを計算することが大事だと思いますが、一旦剪定枝を分母から外した状態で、組成まで出して、あと品目ごとで比較するとか、同じデータを使いながらも少し工夫すると見やすくなると思います。</p>
事務局	<p>剪定枝を外すという理由はどんなところにあるのでしょうか。</p>
鈴木会長	<p>排出構造とか、ごみが出る場所と出ない場所がはっきりしてると思います。なので、そのサンプルをどういう形で、調達したかにもよると思います。例えば、戸建て住宅等、集合住宅の、例えば世帯数の割合、必ず統一させて、それで継続してデータをとっていく。そういうところをきちんと検証しないと、比較が難しくなる可能性があります。</p> <p>季節性もかなりあります。</p>
鈴木会長	<p>以上で議案第1号、は終了します。</p>

	<p>続きまして、議案第2号、第2次福津市環境基本計画の実績報告について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>令和4年度の環境基本計画の実績報告について、評価がB以下のものと、昨年度から評価が変わったものについて説明</p>
中尾委員	<p>カメラ図書館で行ったウミガメの生態について講義は他の地域でも予定がありますか。</p>
事務局	<p>小学校等に対してこういうメニューがありますというお知らせはしておりますが令和4年度については希望がありませんでした。</p>
中尾委員	<p>出前講座を上西郷小学校と勝浦小学校、福間東中学校にて実施していますが、ほかのところはどうなっていますか。</p>
事務局	<p>出前講座としては9回行っております。 上西郷小学校、勝浦小学校（2回）、津屋崎小学校、大和保育所、福間南小学校、津屋崎中学校、図書館、神興小学校です。全部で872人に対して、実施しております。</p>
大庭委員	<p>エコオフィスパランは2年連続C評価ですが、今後の見通しはどうですか？</p>
鈴木会長	<p>学校と庁舎、取り組みやすさはあるですか。市の施設すべてが対象ですか。</p>
事務局	<p>今後、新設校の建設で建物が増えることもあり目標達成はますます難しいと思いますが、LEDの導入などできることから事業を進め頑張りたいと思っています。</p>
栗田委員	<p>二次林についてです。所有者は民間だけど、所有者が管理を委託して行うような制度があったと思います。その場合、委託を受ければ、市のほうで管理することは仕組み上確か出来たと思います。そこに防災の観点を入れてくることは意味があると思います。</p>
事務局	<p>民有地であったとしても防災の面からどこが優先なのか優先順位をつけてアプローチしていることだと聞いています。</p>
鈴木会長	<p>第2次環境基本計画は、私の認識だとやっぱりこの第2部の生物多様性ふくつプランというのが創設されたことがある意</p>

	<p>味、福津市の環境形成、いい意味でとてもユニークな取組だと思います。</p> <p>ただ、実際の実績報告書の案を拝見する限り、どうかと思う部分もあります。今後、取組状況を改善できる見込みというのが立ちそうなのか。それとも、ちょっと今の人数ではもういっぱいいっぱいといったところ状況なのか。</p>
事務局	<p>現実の人数ですと、実施を前向きに行くのが1番いいのでしょうけれども、なかなか厳しいものがあります。</p> <p>とても素晴らしい計画ですが、現実そこがうまくいっていないのが現実です。</p>
鈴木会長	<p>その中で市民の皆様、市民団体の皆様、あるいは工事業者、何かしらの連携強化でもって、何か取組を改善できそうな具体的なアイデア等々をぜひともご検討いただければ。</p> <p>非常に、いい意味で野心的な計画を出されているというところが、個人的にも非常に注目しています。以上で、議案第2号について、終了いたします。</p> <p>続きまして、報告第1号、福津市の令和5年度脱炭素に関する取組について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>令和5年度の脱炭素関連の取組について</p> <p>・省エネ家電買換え事業 ・広報特集（8・9・10月号）</p>
鈴木会長	<p>報告は以上になります。続きましてその他、委員の皆様からなにかございますか。</p> <p>特にないようでしたら議事進行を、事務局にお返しいたします。</p>
○うみがめ課長挨拶	
○閉会宣言	
	次回開催予定・・・令和6年2月ごろ